

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

## ガボン共和国月報(2022年4月)

2022年4月号

在ガボン日本国大使館

### 1. 内政・外交

- オスカ・ラポンダ首相は Amina と呼ばれる有名女性誌の最新号において、「Femmes qui changent l' Afrique(アフリカを変える女性たち)」の年間ランキングで、オコンジョ＝イウェアラ WTO 事務局長、サミア・スルフ・ハッサン・タンザニア大統領、トメガ＝ドグベ＝トーゴ首相及びガーダー・ワーリー UNODC 事務局長に次ぎ、第5位にランクインした。同女性誌は、同首相の功績として、新型コロナウイルス対策は成功であったと想起しつつ、「ガボン、新型コロナウイルス対策の質の高さから、WTO から模範として挙げられている。」と記載した。(11日付LL)
- 11日、アダモ外相は、ヴェリシモ CEEAC 委員長と会談した。同会談は、ガボンが来年議長国を引き継ぐ準備を進める中で行われたものであり、2023年の議長国のガボンへの移行について意見交換が行われた。また、両者はガボンと CEEAC の相互協力について再検討した。この機会に、ヴェリシモ委員長は、ガボンが CEEAC の制度改革を見事にリードしたことに関及した。(14日付 GMT)
- 14日及び15日、ピュルカール(Mr. Thierry BURKHARD) 仏統合参謀総長がリーブルビルを訪問した。同滞在は、当地メディアへの公式説明の他に、強い政治的な目的もあった。ガボン駐留仏軍との会談や、中部アフリカ諸国の将校のためのさまざまな訓練施設を訪問したことに加え、7日の国連総会でガボンがロシアの人権理事会理事国資格停止決議に反対票を投じたことを踏まえて、仏大統領府から両国関係の質を評価するよう命じられたとみられる。(19日付 GR)
- 19日、アリ・ボンゴ大統領は UN Women から、ガボンにおけるジェンダー平等を支持する断固とした行動が認められ、HeForShe 賞を受賞した。(19日付 GA)
- ガボンにおいて、財の不正取得の問題が再び注目されている。故オマール・ボンゴ前大統領の4人の子女が仏司法当局により起訴された。同子女は、過去数十年にわたる仏における大規模な不動産の取得の結果、公金横領の隠蔽、自発的・受動的汚職及び社会的資産の乱用で告発されている。財務判事のドミニク・ブラン(Dominique Blanc)氏は、2022年3月25日から4月5日にかけて、同子女を相次いで起訴していった。問題となっているのは、同子女が仏に所有している不動産である。司法当局は、同子女が、オマール・ボンゴ前大統領が存命中に不正に取得した約8,500万ユーロに相当する巨額の財産から利益を得たと疑っている。被告側は近日中に棄却の請求を行うと共に、控訴することを既に約束している。(21日付 RFI)
- 24日、アリ・ボンゴ大統領は自身のツイッター上において、「エマニュエル・マクロン大統領の輝かしい再選に祝意を表す。共に、ガボン・仏関係の強化に向けた取組を継続していこう。

(注) 本報は、主に現地紙における報道を当館限りで日本語でまとめたものです。記事の中の客観事実は日本政府や現地政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。

共通の過去以上に、我々の両国は建設すべき未来を有している。」とツイートし、マクロン大統領再選への祝意を表明した。

- 28日、アリ・ボンゴ大統領は、バチカン宮殿でローマ教皇と会談した。本会談では、「25年前に行われた当事者間の枠組み協定の署名」だけでなく、ガボンとローマ教皇庁の関係強化について議論された。(28日付 GMT)

## 2. 経済・開発協力

- 2021年12月末時点の関税間接税総局(DGDDI)によるガボンと他国の貿易量データの分析によると、中国が概算26.7%の貿易量を占め、従前通り、ガボンの主要パートナーの位置に留まった。実際、中国、インド、フランス、イタリアからの受注に関連して、ガボンと他国との貿易額は3.6%増の4兆4,942億 F.CFA となった。貿易フロー全体では推定1兆2,015億 F.CFA の減少となったが、中国は依然としてガボンの輸出入の主要パートナーである。2021年、ガボンから上位10か国への輸出額は7.8%増の2兆7,363億 F.CFA であった。これは、中国への輸出額1兆660億 F.CFA に起因する。次いで、インドの4,777億 F.CFA、韓国の2,267億 F.CFA、イタリアの2,119億 F.CFA となっている。輸出の主な品目は、石油、製材、木材、マンガン、パーム油である。(22日付 GMT)

出典: UN(ユニオン紙)、GMT(ガボンメディアタイム)、GA(ガボンアクチュ)、GR(ガボンレビュー)、FB(ガボン大統領府公式フェイスブック)、HP(ガボン大統領府公式ホームページ)、LL(ラリーブルビル)、RFI(Radio française internationale)

(了)